

生年月日： 昭和61年3月12日（33歳）
現職： 講師
所属： 東北大学 大学院薬学研究科 分子薬科学専攻 合成制御化学分野
E-mail： ysasano[at]tohoku.ac.jp



学歴：

平成16年3月 神奈川県 私立聖光学院高等学校 卒業
平成20年3月 東北大学 薬学部 総合薬学科 卒業
平成22年3月 東北大学 大学院薬学研究科 創薬化学専攻 博士前期課程 修了
平成24年3月 東北大学 大学院薬学研究科 創薬化学専攻 博士後期課程 退学
(指導教員：岩淵好治教授)

平成26年9月 東北大学 博士（薬学）取得（主査：岩淵好治教授）

博士論文：高活性ニトロキシラジカル型アルコール酸化触媒の大量合成法の開発と応用

職歴：

平成22年4月～平成24年3月 日本学術振興会 特別研究員（DC1）
平成24年4月～平成26年9月 東北大学 大学院薬学研究科 分子薬科学専攻 合成制御化学分野
助手（岩淵好治教授）
平成26年10月～令和元年12月 同 助教（岩淵好治教授）
平成26年11月～平成27年11月 米国スクリップス研究所 化学科
博士研究員（Ryan A Shenvi 准教授）
令和2年1月～現在に至る 東北大学 大学院薬学研究科 分子薬科学専攻 合成制御化学分野
講師（岩淵好治教授）

所属学会：

日本薬学会
有機合成化学協会
日本化学会
日本プロセス化学会

受賞歴：

- (1) 第9回次世代を担う有機化学シンポジウム優秀発表賞（平成23年, 2011）
受賞タイトル「短工程大量合成法の開発に基づく AZADO 酸化触媒の高次機能化研究」
- (2) 日本薬学会第132年会学生優秀発表賞（平成24年, 2012）
受賞タイトル「AZADO-銅触媒系を用いたアミノアルコール類の空気酸化反応」
- (3) 有機合成化学協会 2013年 塩野義製薬 研究企画賞（平成25年, 2013）
受賞タイトル「分子内ラジカルカップリング反応を鍵とするダフニユニン／ダフニサイクリジン類の網羅的全合成研究」
- (4) 東北大学 平成30年度（第12回）薬学研究科長賞（平成30年, 2018）
表彰理由「特に優れた研究を行った者」

代表的論文：

- (1) Shibuya, M.; Sasano, Y.; Tomizawa, M.; Hamada, T.; Kozawa, M.; Nagahama, N.; Iwabuchi, Y.
“Practical Preparation Methods for Highly Active Azaadamantane-Nitroxyl-Radical-Type Oxidation Catalysts”
Synthesis **2011**, 3418–3425.
- (2) Sasano, Y.; Murakami, K.; Nishiyama, T.; Kwon, E.; Iwabuchi, Y.
“3-Methyl-4-oxa-5-azahomoadamantane: Alkoxyamine-Type Organocatalyst for Alcohol Oxidation”
Angew. Chem. Int. Ed. **2013**, 52, 12624–12627.
- (3) Sasano, Y.; Nagasawa, S.; Yamazaki, M.; Shibuya, M.; Park, J.; Iwabuchi, Y.
“Highly Chemoselective Aerobic Oxidation of Amino Alcohols into Amino Carbonyl Compounds”
Angew. Chem. Int. Ed. **2014**, 53, 3236–3240.
- (4) Murakami, K.; Sasano, Y.; Tomizawa, M.; Shibuya, M.; Kwon, E.; Iwabuchi, Y.
“Highly Enantioselective Organocatalytic Oxidative Kinetic Resolution of Secondary Alcohols Using Chiral Alkoxyamines as Precatalysts: Catalyst Structure, Active Species, and Substrate Scope”
J. Am. Chem. Soc. **2014**, 136, 17591–17600.
- (5) Nagasawa, S.; Sasano, Y.; Iwabuchi, Y.
“Synthesis of 1,3-Cycloalkadienes from Cycloalkenes: Unprecedented Reactivity of Oxoammonium Salts”
Angew. Chem. Int. Ed. **2016**, 55, 13189–13194.